

# ひろか

だより

第400号(記念号)  
令和7年11月20日  
発行  
**弘果**  
弘果 弘前中央青果株式会社  
津軽の「うまい」がここにある

年々始に美味しい海鮮はいかがですか?  
**弘前丸魚**  
**歳末海鮮市場**  
詳しくは特別紙面へ

## 創刊400号

### ひろかだより 第400号 発行にあたり



弘果 弘前中央青果株式会社  
代表取締役社長 葛西 静男

「ひろかだより」第400号発行にあたりご挨拶申し上げます。また、平素は弘果ならびにグループ各社に対しまして、格別のお引き立て、ご厚情をいただいておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

本紙は、弘果グループ各社とお取引先の皆様、適確な情報を交換し合うことにより、地域や社会の変化へ適確に対応することを目的に、平成4年8月に創刊し、読者の皆様と弘果を繋ぐ情報源として、様々な情報を発信してきました。創刊以来、本紙の原点である「市場とお客様とのコミュニケーションの場」としての使命を全うするべく、読者となる生産者、買参人の皆様をはじめ、関係各位と地域や時代のニーズと話題を発信して歩んでまいりました。

そして創刊から33年の時を刻んだ今、社会環境、経済、国際情勢等、あらゆる面での変化が加速度的に増しております。今回記念となる節目の発行にあたり、「温故知新」すなわち原点に立ち戻りつつ、多様化した時代に即した発信方法を模索し、綿々と歌い継がれてきた社歌「弘果の歌」の一節である、読者の皆様とこれまで積み重ねてきた「広域と組織の力」を更に発展させ、「心ひとつの弘果」のもと、有意義で充実した内容を発信し続けていくことで、読者皆様との架け橋となり、共存、共生、共栄を目指していく所存でございます。

最後に「ひろかだより」の末永いご愛読と、弘果グループに対するご愛顧、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。400号発行のご挨拶といたします。


## ひろかだより創刊第400号特別企画

### 温故知新

第300号(平成29年7月発行)から現在までを振り返る

第302号 平成29年9月発行  
ハローキティ・つながりあんどプロジェクト始動

当社において、現在展開しているオリジナルブランド「つながりあんど」、世界規模で認知度の高いキャラクター「ハローキティ」がタッグを組んだ「ハローキティ・つながりあんど」プロジェクトが発足しました。このプロジェクトは、「ハローキティ」のキャラクター力を活かした積極的な販売促進と、競争力のある産地の維持・発展への取り組みを目的とし、ロゴマークを使用した商品を開発してまいります。



第309号 平成30年4月発行  
りんご生産者対象の運転資金制度開発

みちのく銀行が弘果弘前中央青果株式会社と株式会社津軽りんご市場と連携し、りんご生産者向けの金融支援といたしまして、運転資金制度「産地市場活性化ローン」を開発しました。

第310号 平成30年5月発行  
弘果りんご連絡協議会創立40周年の節目祝う

弘果りんご連絡協議会(木村良一会長)は、消費動向に合わせた品種の構成、生産技術の確立、選果基準等の共有化を推進し、各出荷組合のレベルアップを図ることを目的に、「弘果りんご生産販売組合連絡協議会」として設立されました。

同会創立40周年を記念して5月8日、弘果第3卸売場特設会場において、会員、関係者約600名が出席し、式典が開催されました。



第311号 平成30年6月発行  
黒星病注意報発令

津軽地域では、黒星病の発生が広く確認されています。青森県産業技術センターりんご研究所の圃場では、4月7日から黒星病子のう胞子飛散が確認され、同月24日、25日に飛散のピークを迎え、その後は降雨の度に飛散が確認されています。

今後の対策として、菌密度が高く、被害葉・被害果(ツル)からの分生子は飛散量が多いと考えられるため、薬剤散布の徹底と、実すぐりと同時に樹上の被害葉・被害果(ツル)も一緒に摘み取り、土中に埋める等、適切に処分し、感染源を減らしましょう。

第313号 平成30年8月発行  
弘果物流リニューアルオープン

弘果場内にある弘果物流の店舗兼事務所がリニューアルオープンしました。今回の改装は、店舗兼事務所の老朽化に伴い、5月末から工事を実施。農業資材や加工品などを販売する店舗スペースは従来の約2倍に広がり、買い物しやすいとなりました。また外観は周囲の建物と調和させ、注目商品などを展示するショーウィンドウも設置しています。



第315号 平成30年10月発行  
弘果第4卸売場リニューアル

当社では、生産者の皆様及び買参人の皆様の更なる利便性向上のため、第4卸売場に外壁とシャッターを取り付けしました。

今回の工事では、施設の東西南北に外壁の他、シャッター26枚が設置され、安全な屋内空間が出来上がり、




今以上に品物に優しい建物としてリニューアルしました。

第323号 令和元年6月発行  
弘果弘前中央青果会創立50周年の節目祝う

弘果弘前中央青果株式会社(葛原和典会長) 創立50周年を記念して5月14日、弘前市のラグリーにおいて、会員、関係者約40名が出席し式典が開催されました。

同会は、青果買参人と市場との適正かつ円滑なる取引と、会員の親睦を図ることを目的として、弘果の前身である丸吉大中青果時代の昭和44年4月に設立されました。



第335号 令和2年6月発行  
弘果新社長に葛西静男氏就任

弘果弘前中央青果株式会社第49期定時総会後に行われた取締役会において、葛西静男氏が代表取締役社長に就任しました。葛西新社長は就任にあたり「私は人の繋がりを大事にし、自分の周りの方々に感謝の気持ちをもちながら仕事を行いたいと考えています。社歌に込められた『弘果の精神』を以て、皆で市場を支え、地域に貢献していきたい」と決意を述べました。

第337号 令和2年8月発行  
新型コロナウイルスに関する指針・ガイドライン策定

弘前総合地方卸売市場では7月14日、新型コロナウイルスへの感染予防指針及び対策に関するガイドラインを策定しました。

同指針では、弘果職員、買参人、生産者、市場関係者等に対しての感染予防に関する遵守事項、同ガイドラインでは、①市場内における感染予防対策、②陽性者が発生した場合における衛生上の職場対応ルール、③プライベートにおける感染拡大防止対策、④市場の取組み内容の告知・情報開示による不安払拭方法、⑤指揮・命令系統を定め、感染状況に応じて発令される市場内業務等の制限を設けています。また、津軽りんご市場でも同様の指針及びガイドラインを策定しています。

各社職員をはじめとする青森県の農産物を取り扱う全ての市場関係者が己の使命と責任を自覚し、新型コロナウイルスから青森県産青果物のブランドを守るため、遵守してまいります。



# ひろかだより 創刊第400号 特別企画

## 温故知新

第300号【平成29年7月発行】から現在までを振り返る

**令和2年9月発行**  
**第338号**  
**地域コミュニティの中核へ弘果修斉スポーツパーク**

2016年3月に閉校した弘前市十面沢地区の修斉小学校が、当社とNPO法人スポーツネット弘前（鹿内葵理事長）によって、スポーツ交流施設「弘果修斉スポーツパーク」として生まれ変わりました。  
当社は同校閉校後、弘前市より敷地を借り受け、秋季限定で十面沢集荷場（今年度も同所にて営業中）を設置していました。そして昨年、市から敷地、建物取得、活用をスポーツネット弘前へ委託し、グラウンド整備や建物の修繕を進め、9月からグラウンド及び体育館の利用受付を開始しました。

**令和2年10月発行**  
**第339号**  
**津軽りんご市場**



津軽りんご市場では、りんご選果委託の増加に伴い、選果処理能力及び品質向上を目的に、りんご選果場を新築しました。

同施設の完成により、りんご生産者の利便性の向上と、統一した選果による、良品物の提供が期待されます。

**令和3年7月発行**  
**第348号**  
**新型コロナウィルス職域接種**

新型コロナウイルスワクチンの接種を、企業や大学など1000人以上の単位で行う職域接種を6月27日、当社が青森県内で最初に実施しました。

当社は、地域への生鮮食料品の安定的な供給と、秋のりんご産地市場としての受け入れ体制を整えるために、政府が申請受け付けを始めた6月8日に申請しました。



**令和4年3月発行**  
**第356号**  
**弘果スキーレーシングクラブの北京五輪**

北京五輪日本代表に選出された弘果スキーレーシングクラブのブス正選手は、15キロスキースロ、10キロラシカル、20キロリレー、30キロリレーに出場し、世界の壁に挑み健闘しました。



**令和4年7月発行**  
**第360号**  
**創立50周年記念式典**

弘果弘前中央青果株式会社（以後当社）では6月21日、当社第3卸売場特設会場において、創立50周年記念式典と祝賀会を開催しました。系統出荷団体、県内外農協、県外青果会社、弘果グループ関連団体、りんご・野菜・果実の出荷組合、買参人等の関係者約390名が出席し、半世紀の節目を祝いました。



**令和5年3月発行**  
**第368号**  
**市場実現を炭素指す型**

弘果弘前中央青果（青果卸売市場）、弘前水産地方卸売市場、弘前水産冷蔵協同組合の3団体では、全国初の低炭素化型市場を目指し、太陽光発電とEMS（エネルギーマネジメントシステム）を組み合わせ、再生可能エネルギー導入事業に取り組んでいます。

当社は民設民営の卸売市場として、時代の潮流を見越し市場を変化させています。そうすることで地域産業も持続的に発展していくことを期待しています。

**令和5年4月発行**  
**第369号**  
**インボイス制度開始迫る卸売市場の利用で今までの通りの出荷**

令和5年10月1日から、消費税の複数税率に対応した仕入税額控除（課税売上に係る消費税額から課税仕入れに係る消費税額を差し引いたもの）の方式として「適格請求書等保存方式」（インボイス制度）が開始されます。そしてこれからは、消費税の納税やその関連手続きで、生産者や業者の事務手間が増加することが予測されます。

しかし、このインボイス制度には「卸売市場特例」があります。卸売市場を利用される生産者の皆様は、煩雑な手続きの必要は一切ございません。今まで通りに出荷していただくをお願いいたします。



**令和5年5月発行**  
**第370号**  
**創立30周年の節目を祝う弘果りんご連絡協議会婦人部**

弘果りんご連絡協議会婦人部（清藤富士子部長）は、女性としての教養を高め、農業経営の安定と所得の向上を図り、地域の交流と親睦を深め、一層の創意工夫に励むという目的を掲げ設立されました。

同部創立30周年を記念して4月24日、弘前市フルトナにおいて、会員、関係者約70名が出席し、式典が開催されました。



**令和5年5月発行**  
**第370号**  
**りんごモデル園開設**

弘果総合研究開発は今年度、りんご栽培において作業の効率化、早期多収が期待されている「りんご高密植栽培」の経営モデル園を弘前市小沢地区に開設しました。同社では2019年から、津軽地方の9園地でりんご高密植栽培の実証実験を行ってきました。そして、これまでの試験園地での成



果を踏まえ、新規就農者を育成する経営モデル園の開設に着手しました。計画では4年間で研修生計8名を受け入れ、定植、栽培管理、収穫等2年間の研修を経て、終了後は、同社が経営指導や国の補助金導入等のアドバースを行い、独立就農を全面的にサポートします。

**令和5年7月発行**  
**第372号**  
**弘果りんご買参人共進会**

弘果りんご買参人共進会（森山博幸会長）は、会員相互の親睦融和を基盤とし、市場とのりんご取引の適正なる売買を期し、青森県りんご産業の流通発展を遂行することを目的に設立されました。

同会創立50周年を記念して6月27日、アイトホテル弘前シティにおいて、会員、関係者約100名が出席し、式典が開催されました。



**令和5年10月発行**  
**第375号**  
**モモシクイガ寄生果実を見逃さないで徹底した選果が被害果流通を防ぐ**

今年度4月～8月の平均気温は、最高・最低ともに平年を上回っています。これは、殺虫剤によるモモシクイガの防除に影響を及ぼします。モモシクイガの被害果を流通させないために、食入痕、滴痕、脱出痕を見逃さないように注意し、徹底した選果を行いましよう。

**令和6年3月発行**  
**第380号**  
**弘果スキーレーシングクラブの土屋正恵選手がリレー25年ぶり悲願の優勝**

弘果スキーレーシングクラブの土屋正恵選手、横濱汐莉選手、小林萌子選手が第102回天皇杯全日本スキー選手権大会女子クロスカントリーのリレーに出場しました。

会場に駆け付けた弘果大応援団の声援を受け、アンカーの土屋選手が1位でフィニッシュし、1999年の同大会で女子リレーを制して以来25年ぶりとなる悲願達成となりました。





### 第381号 令和6年4月発行 弘前花き部へ併

株式会社弘前花きは、弘果の花き部門を独立させ、平成12年に設立した花き専門市場です。同社は4月1日から、弘果弘前中央青果株式会社が吸収合併し、「花き部」として卸売部門を存続します。

花きの生産者、買参人の皆様におかれましては、「弘果」のネームバリュー、スケールメリットを活かし、これまで以上に安定供給、消費の定着・拡大といった課題に対する取り組みを共有し、産地維持と業界の活性化に努めて参ります。

### 第383号 令和6年6月発行 つがりあんメロンさん 過去最高値40万円

当社オリジナルブランドつがりあんメロン「アムさん」の初競売が6月7日、当社第1卸売場において行われました。

競売では、秀2玉サイズ1箱が40万円で競り落とされ、過去最高値を記録し、幸先の良いスタートとなりました。



### 第384号 令和6年7月発行 津軽りんご市場開場30周年 記念式典・祝賀会盛大に開催

株式会社津軽りんご市場（八木橋宏弥代表取締役社長）は、本社である弘果弘前中央青果のりんご取扱量増加に伴い、集中するりんごの分散と、西北五地域の生産者への利便性を図り、同地域での新規開拓につなげる構想のもと、津軽平野の中央に位置する板柳町が取り組む企業誘致を受け「全国初のりんご専門市場」として誕生しました。

同社では6月18日、板柳町多目的ホール「あぶる」において、開場30周年記念式典と祝賀会を開催しました。りんご出荷組合、買参人、関連団体等の関係者約330名が出席し、開場30周年の節目を祝いました。



### 第384号 令和6年7月発行 津軽りんご市場開場30周年の節目祝う

津軽りんご市場（竹谷保会長）は、会員相互の親睦と融和を図り、りんご取引の適正を期し、業界の一員としての使命と自覚のもとに互いに協力し合い、相互の発展と青森県の基幹産業たるりんごの流通発展に寄与することを目的に設立されました。

同会創立30周年を記念して7月9日、アートホテル弘前シティにおいて、会員、関係者約100名が出席し、式典が開催されました。



### 第390号 令和7年1月発行 津軽りんご市場連絡協議会 創立30周年の節目祝う

津軽りんご市場連絡協議会（小関清隆会長）は、出荷組合、支会等の会員の親睦を図り、りんご産地を育成し、農業経済を豊かにすることを目的に設立されました。

同会創立30周年を記念して12月14日、板柳町多目的ホール「あぶる」において、会員、関係者313名が出席し、式典が開催されました。



### 第394号 令和7年5月発行 令和6年度産りんご両市場ともに 年度平均単価・取扱金額過去最高

令和6年度産りんごについて、弘果での取扱数量439万428箱（前年比103.7%）、平均単価6820円（同111%）、取扱金額299億435万円（同115.2%）、津軽りんご市場での取扱数量216万514箱（前年比96.5%）、平均単価6765円（同112.5%）、取扱金額146億1594万円（同108.6%）となり、両市場ともに平均単価、取扱金額は過去最高となりました。



## 晩生種最盛期迎える

## 入荷数量減も堅調な取引続く



弘果晩生種りんご競売の様子

今年晩生種の入荷が最盛期を迎え、弘果津軽りんご市場では連日活気溢れる取引が続いています。

晩生種の状況として、6月、7月の干ばつの影響から全体的に小玉傾向となりました。また、9月の暴風による落果や樹上被害の他、害虫（ナシマルカイガラムシ・カメムシ）による被害も多く散見され、加工へ回るりんごも多く、各園地では鳥、熊による被害から、圃場での廃棄も多くなりました。有袋ふじについては、高温の影響で着色管理が難しくなっていることや、労働力不足の影響から無袋栽培へ移行する生産者が多くなりました。これらの要因から、入荷数量は前年を下回りました。

販売面では、大玉や良品物の入荷が少ない中、業者の長期貯蔵用の本格的な仕入れや輸出需要の高まりから、上実から下位等級品まで堅調な取引となりました。

今後は主力のサンふじの入荷がピークを迎えます。食味の良さや他県産の出回り量が少ないことから、堅調な取引が期待されます。

津軽りんご市場晩生種りんご競売の様子

### りんご出荷について

運搬の際はロープ掛けと雪が積もらないようにシートをかけてください。

パレットは雪がつかないようにし凍結したパレットは使用しないでください。

カイガラ・カメムシの被害果やヤケ果・つる割れ・病害果はハネには混入せず、細かな選果をお願いします。

### 令和7年度 晩生種取扱数量・平均単価

弘果（11月15日までの累計）

品名	数量(箱)	平均単価
王林	令和7年度 277,096 前年同月比(%) 89.4	5,223 99.7
ふじ	令和7年度 291,629 前年同月比(%) 72.0	9,298 114.7
サンふじ	令和7年度 644,723 前年同月比(%) 85.7	7,545 104.4

津軽りんご市場（11月15日までの累計）

品名	数量(箱)	平均単価
王林	令和7年度 149,719 前年同月比(%) 99.2	5,311 100.9
ふじ	令和7年度 173,924 前年同月比(%) 74.1	8,675 111.2
サンふじ	令和7年度 375,282 前年同月比(%) 84.2	7,172 101.2

## 学校伝統のりんご栽培78年目を迎える

## 今年も努力の成果を出荷



東目屋小学校 私たちがこのりんごを作りました 東目屋中学校 競売見学に訪れた生徒・児童たち

当社第2卸売場において、11月5日、弘前市立東目屋中学校の生徒達が栽培したりんごの競売が行われました。

東目屋中学校では1947年（昭和22年）から学校でりんごを栽培しており、今年で78年目を迎えます。隣接する東目屋小学校の児童が作業を手伝い、同校のPTAも協力して、栽培から収穫、出荷までの一連の作業を行っています。

当日は、東目屋中学校、小学校の生徒、関係者ら総勢85名が、手塩にかけた栽培したりんごの競売を見守りました。出荷された「サンふじ」5箱、「シナノゴールド」2箱は次々と競り落とされ、「サンふじ」が高値3万5千円、「王林」「シナノゴールド」が高値2万5千円で取引されました。

競売後、同校農園副委員長の本実莉杏（みりあ）さんは「学校の農園で大雪の被害があった他、周辺で熊の出没が相次ぐ等、農園での作業が思うようにいかず大変でした。今年は大玉が少なく、収量も少ない状況でしたが、最高値で昨年の2万5千円を超える3万5千円で取引され、栽培の苦労が報われ、今後の大きな励みとなりました」と話していました。



出荷したりんごの競売を見守る



## 農業の未来を拓く！新規就農者



**藤田 俊也さん (38)**  
 【園地所在地】弘前市鬼沢  
 【作付状況】ぶどう（シャインマスカット、ナガノパープル）・ハウス  
 【就農年】2024年  
 【きっかけ】青森県農業大学校卒業後に農協へ就職しました。農協時代は様々な部門を経験し、特に営農指導では、様々な品目を担当しました。中でもぶどうの栽培に興味を湧き、自分でも趣味の範囲で育ててみたいという思いから、りんご農家である実家の農地を借り受け、ぶどうを定植しました。元々からあるりんごや、新たに定植した桃等、仕事終わりの休みの日をメインに栽培管理を行っていました。そのような生活を続けていた中で、自分で

作った農作物で本格的に生計を立てていきたいという思いが芽生え、一念発起して仕事を退職し、農地も正式に取得して専業農家として歩みだしました。

【現在】主にシャインマスカットの生産、出荷について、更なる品質向上やブランド、販売力を考えた上で、出荷先として弘果を選別しました。栽培指導や出荷・販売面でのサポートが非常に心強く、高品質を付加価値としたブランド「つがりあん」の厳しい出荷基準をクリアし、高単価で取引されることを目指して励んでいます。

【夢・展望】前職での経験が、自身の農業経営において非常に役立っていると感じています。

農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人にスポットを当て、紹介します。農業の未来を切り拓く就農者を弘果グループは応援します。



掘取機を用いた収穫作業

## 里芋

### 産地化を目指して

弘果そ菜部では、生産者の高齢化や、野菜作付面積の減少を少しでも改善するため、機械化が可能なで労力軽減が期待でき、温暖な気候を好む品種「里芋」に着目し、産地化を目指しています。

弘前市大開の桑田まさ子さんの園地では現在、弘果から貸し出された掘取機を用いての収穫作業が行われています。桑田さんは、園地の活用を考えたところ、弘果の里芋栽培者募集を知り、今春作付けを行いました。桑

### 期待を込めた収穫作業始まる

田さんは里芋栽培や今後の出荷について「弘果の栽培指導や、栽培・収穫等に関する機械類を借りることができたおかげもあり、初めての栽培にもかかわらず、里芋が収穫できました。これからの出荷、販売面においても、各種青果物の販売に定評がある弘果に期待しています」と話していました。

そ菜部では、里芋の栽培者を募集しております。関係する農機具の貸し出しも行っておりますので、詳細はそ菜部、または農産指導課へお問い合わせください。



選別を経て出荷された里芋

## 弘果東京営業所ニュース



弘果東京営業所では、弘果オリジナルブランド「つがりあん いちじく」の認知度向上を図るため、食品スーパーマーケット「アイゼンズ伊勢丹」の東京都内2店舗において10月18日と19日、試食販売を行いました。

当日は、「つがりあん」の半纏を着た東京営業所職員が、積極的に「つがりあん いちじく」をアピールしていました。

同社の担当者は「消費者から『美味しい』と評価をいただきましたので、来年は定期的に販売してまいります」と話していました。

### 東京都内で試食販売会開催

販売していきいたい」と話し、店頭で販売を担当した東京営業所担当者は「試食を勧めた皆様から『青森県でいちじくを栽培していることを知らなかった』『皮ごと食べられるの知らなかった』との声をいただきました。これから首都圏での『つがりあん いちじく』の更なる認知度向上に向けて、販売促進してまいります」と話していました。



「つがりあん いちじく」をPRする東京営業所職員

### 精算窓口支払時間 変更のお知らせ

**弘果精算所**  
 11月25日（火）～  
 6:30～17:00

### 津軽りんご市場 精算所

11月17日（月）～  
 8:00～17:00

土曜日・市場休業日  
 精算所は休みです

### マンガでわかる

## 3本の苗木から 始まった奇跡 ～青森りんご物語～

監修 一木 茂  
 作画 室崎ランコ



【りんご大学】

青森りんごの 歴史マンガができました！  
 ここから読めます→

令和8年総合カタログ 好評配布中  
 (株)弘果物流 0172-27-1800  
 内容等については弘果物流までお問い合わせください

## 弘前市場まつり

11月23日（日・祝）  
 7:00～11:00

メイン会場では、かに大鍋大試食会や模擬セリ大会など、ステージイベントも盛りだくさん！

他にも…  
 ○キッチンカー  
 ○野菜・果物の販売  
 ○詰め放題  
 ○花の販売・オークション  
 ○超巨大アップルパイ などなど

### タイムテーブル

7:00 オープニングセレモニー  
 (マグロ解体など同時開催)  
 8:00 模擬セリ大会1回目  
 9:15 花のオークション  
 9:30 決め手くん&たか丸くんショー  
 10:00 模擬セリ大会2回目

当日は大変込み合います  
 危険ですので、車の移動は誘導員の指示に従ってください